

令和5年度ソフトテニス部の指導方針等について

令和6年1月25日

1 指導体制

| 顧問教諭氏名 | | 部活動指導員氏名 | 頻度 |
|--------|------|----------|-----|
| 主顧問 | 渡邊 滯 | 大塚 進 | 週5日 |
| 副顧問 | 平野 徹 | 竹中 良明 | 週2回 |

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
高い目的意識を持ち、自ら課題を発見し解決する能力を身に付ける。
目標を明確化し、日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
関東大会出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
連盟(以下、高体連)主催の大会会場であり、大会運営を補助する。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2時間、休日4時間を基本とし、大会日程等に応じて練習日数および時間は調節する。意識を高く持ち、短時間に集中して活動を行う。
- (2) 練習や試合等の計画
高体連および国公立大会実行委員会等の大会に参加する。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
定期的に学習状況や成績を確認し、家庭での学習時間を確保するよう促す。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、部活動指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
上級生から下級生または同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 事故防止・安全配慮
指導者および生徒は視野を広く持ち、相互に危険を排除する努力を怠らない。
部室等は適宜顧問が見回り、整理整頓がなされていることを確認する。

5 活動の手順

職員室に必要な鍵を取りに行く。部室で着替える。コート整備を行う。
ミーティング後練習を開始し、各練習の間に休憩時間を設ける。コート整備を行う。
ミーティングを行う。部室で着替える。鍵を職員室に返却する。